二中学区小中一貫通信　第１号

令和5年5月17日（水）　発行：小中一貫プロジェクト委員（緑小：鯉渕礼子）

新緑がまぶしい季節となりました。大型連休が明け、学校生活や学習への取り組みも落ち着いてくる頃かと思います。また、二中学区としての小中一貫の取組も２年目を迎え、各チームごとに昨年度からの活動を継続し、さっそく本格的に始動しました。今年度は、小中一貫教育２か年計画のまとめの年となります。目指す子ども像に少しでも近づけるよう、３校の先生方が一丸となって実践し、二中学区児童・生徒の成長につなげていきたいと思います。お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

〔第１回全体会を振り返ってみましょう〕　※全体会はオンラインで実施

１　担当校長あいさつ　　**緑小学校　鈴木寧子校長先生**

＜小中一貫を推進するための３ステップについて＞

①「情報交換」・・・情報交換を通して相互の共通点や相違点をわかり合い、それぞれの役割を確認したり、どうしたら互いを生かし合うことができるのかの方法が見えてきます。そこで、互いの理解が深まり、目標も共有できると思います。また、課題も見つかると思います。その時、お互いがさらに理解し合うチャンスです。

②「交流」・・・授業や活動で交流すると、これまで、別々にやってきたことがつながり、同僚性が生まれ、時と場を共有して共通のものを作り出すことにつながります。

③「連携」・・・例えば「つながる」をキーワードとして「連携」を考えると、目標がつながり、指導方法や指導内容でつながり、カリキュラムの連携が図れます。

「情報交換」や「交流」で縮まった心の距離が「連携」を通して、内容における距離を縮めることにつながり、より実践的な連携になります。平成２８年度からスタートした小中一貫教育は、十分時を経ていますが、再度「何のためにやるのか」を共有し、めざす子ども像の実現のために、二中学区の子供達の未来を語り合って頂けたらと思います。

２　下野市教育委員会からの説明　　**石﨑　真清先生**

①成果指標について

めざす子ども像を具体的にイメージするために、南河内第二中学校区小中一貫教育の成果指標を設定しています。「まなび」「こころ」「からだ」のそれぞれについての目標値も設定していますので、確認をお願いします。

②取組をつなぐことについて

「下野市小中一貫教育推進ハンドブック」を活用しながら、成果や変容を把握し、振り返りを生かした取組をお願いします。また、取組の可視化をすることで、共有や引き継ぎに役立ててください。

③取組や成果を共有することについて

地域との連携を図るため、地域や保護者への情報発信をお願いします。また、掲示板等を今後も更に活用して、小中教員同士の情報共有も進めていってください。

３　令和５年度グランドデザインについて　　祇園小学校　　木下　恵先生

昨年度より、長期ビジョン「夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童生徒の育成」のもと、目指す児童像の実現に向けて、「まなび」「こころ」「からだ」「ちいき」の４つのチームが実践を行ってきました。本年度は、２か年計画の最終年度となり、大きな変更はありません。昨年度の課題をふまえて工夫した実践を進めることとなります。また、今年度末には、この２年間の取組を、市教職員全体研修会で報告することになっています。実践のまとめが昨年度よりも前倒しになりますので、計画的に実践を進めていただくようお願いします。

また、資料「下野市小中一貫教育の具体」にありますように、昨年度の二中学区の取組を振り返りまとめたものをもとに、プロジェクト委員会において本年度実践したい具体案を確認しました。各チームで取組を考える際の参考にしてください。

４　令和５年度小中一貫の日の動きについて　　南河内第二中学校　　中里　篤先生

令和５年度小中一貫の日年間予定表参照

〇今年度は、２か年計画の２年目（まとめ）となるために、第５回研修会（１１月１５日）で各チームごとに活動のまとめをすることになります。昨年度中に具体的実践を検討してありますので、今年度は具体的な取組をすぐにスタートできるようお願いします。

〇各チームごとのまとめの提出は、１１月３０日（木）までとなります。

〇小中一貫の日年間予定（６回）

５／１（月）全体会　　５／１７（水）各部会　　６／２８（水）各部会　　８／１（水）各部会

１１／１５（水）各部会ごとの２年間の活動のまとめ

１２／１３（水）全体会

＜各部会の活動のようす＞

授業研究チーム（国語部会）

授業研究チーム（外国語部会）

心づくりチーム

健康チーム

つながりアクションチーム

部会長さんを中心に、真剣に話し合う様子が見られました。

今年度１年間、どうぞ、よろしくお願い致します。